

artful_saffron_007_Decorations_of_Tokonoma

1. サフラン酒の離れのチンクグリ

1. サフラン酒の離れのチンクグリ

各座敷の床の間と違い棚に設えたチンクグリは、本格的な書院造りの典型です。

ちょっとニッチな話ですが、どうしても、お話ししておきたかったこと。



一階座敷の
チンクグリ

一階の南端の座敷



二階の南の座敷



二階座敷の
チンクグリ

二階の真ん中の座敷

チンクグリとともに、
七尺近い桜の床柱、
タガヤサンの落とし掛け

随所にチンクグリ 本格的な書院造りの典型

一階の南端の座敷には
野趣あふれる流木の枝の枠のチンクグリ

二階の真ん中の座敷には
高さ一尺程の小さな四角形のチンクグリ

更に、現在は非公開ですが、主屋の座敷には、
畳半畳程の大きなチンクグリの壁跡

チンクグリ はじまりは

チン(狆)は奈良時代に朝鮮から聖武天皇に贈られた犬。
江戸時代、江戸城の大奥で飼育され始め、
各地の大名が、こぞって飼育。
狆が生活の中で身近だったために、
このような名前が付いたらしい。



もともとは、床脇の明かり採りの役目があって、
書院造りの正式の設えとして広まったといわれています。

江戸時代の後期には、武家、さらに商家や大庄屋の最上級の座敷に必須のアイテムとなった。

大庄屋では、年に数回、代官クラスのお役人の見回り・政務の確認を受けた。

(長岡藩では三人の郡奉行とともに、上組、北組に各3人の代官、その他の組を含め、10名以上の代官を配置)

現在でも、保存されている大庄屋の屋敷には、一室はチンクグリの座敷があることが多い。

みなさんも、古民家や大庄屋の屋敷を、
観光でご覧になる機会が多いと思います。

結構、このチンクグリが見つかります。

各地の大庄屋のチンクグリ

新潟・柏崎市高柳の貞観園
根曲がり杉のチンクグリ
(江戸時代、当地の大庄屋の
公的事務用建物の座敷)



長野・軽井沢の南ヶ丘美術館
(元は山梨の塩山にあった大庄屋
屋敷を移築) 畳半畳の大きさ



サフラン酒の主屋の
チンクグリ、今は非公
開ですが、半畳です。
往時の吉澤家の主屋
も、こんな雰囲気だっ
たのでしょうか。

以上です。

質問があれば、お聞きしますが、
現地ツアーのなかでも、受け付けます。
お話ししましょう。

